

平成26年度事務事業評価シート

◎基本情報

事務事業名	地域子育て支援拠点事業(ひろば)		担当部署	健康福祉部 子どもいきいき課		
総合計画体系			根拠法令計画など	鳴門市地域子育て拠点事業実施要綱 鳴門市次世代育成支援対策行動計画		
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり	事業期間	開始	平成	22年度
政策(中項目)	2	子どもたちの笑顔と歓声が聞こえるまち なるど			終期	未定
(小項目)		0				
施策	2	児童福祉の推進				
基本事業	3	子育て家庭への支援				

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 概ね3歳未満の乳幼児とその保護者 生後4か月までの乳児とその保護者						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	乳幼児と保護者が相互に交流を行う場所を設定し、子育てに関する情報交換や相談、交流等の機会づくりなどをし、子育ての不安感を緩和し保護者の孤立化の解消を図る。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	単位
		ひろば参加親子数	1,400	4,000	5,000	5,000	5,000	組

◎実施結果(DO)

事業実施内容	25年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	地域子育て支援拠点事業(一般型)を商業施設に「にこにこ広場」を開設し、NPO法人「子育て応援団レインボー」に委託事業として行った。また、一般型の基本事業に加えて「おめでとう赤ちゃん訪問事業」を実施し、乳児家庭の全戸訪問や出産期の支援、子育て支援等を実施した。						
事業実施手法		<input type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
指標名		24年度実績	25年度実績	26年度目標	27年度目標	28年度目標	単位	
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	訪問乳児数	316	341	310	310	310	人
	2	ひろば開催日数	235	242	340	340	340	日
成果指標 対象にどのような効果があつたか示す指標	ひろば参加親子数		3,717	4,246	-	-	-	組
	目標達成率(実績/目標)			106.2	-	-	-	%

コスト分析		24年度実績	25年度実績	26年度	27年度	28年度	単位	
事業費	(財源内訳の合計)		7,300	8,620	12,000	12,000	12,000	千円
	財源内訳	国	0	0	0	0	0	
		県	3,650	4,310	4,995	4,995	4,995	
		地方債	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
		一般財源	3,650	4,310	7,005	7,005	7,005	
事業にかかる人件費 (人件費内訳の合計)		1,303	1,303	1,303	1,303	1,303	人	
人件費内訳	正規職員(6,517千円/人)	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2		
	臨時職員等(2,012千円/人)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
総事業費 (事業費と事業にかかる人件費の合計)		8,603	9,923	13,303	13,303	13,303	千円	

【事務事業名:地域子育て支援拠点事業(ひろば)】

◎平成26年の実施状況(DO)

現在の実施状況	在宅子育て家庭の不安感を緩和し、子どもの健やかな育ちを促進するために商業施設の空きスペースにおいてにこにこ広場を開催し週5日間在宅家庭親子の交流や相談、講習、援助の実施及びおめでとう赤ちゃん事業による4カ月までの乳児全戸訪問を実施する。また、平成26年度は、西エリアに出張ひろばを開設し周辺地域への子育て支援を充実させる。(H26.4開設済)
---------	---

◎項目別評価(CHECK)

事務事業の評価	1.必要性の評価			理由等所見欄
	8	<input checked="" type="checkbox"/>	① 廃止した場合に支障が出る。	乳幼児家庭の孤立化や虐待を未然に防ぎ健全な育成環境を図るため必要。
		<input checked="" type="checkbox"/>	② 施策 児童福祉の推進 の達成につながる事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	③ 税金で実施するにふさわしい事業で、市民への説明責任も果たせる。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	④ 市民の基本的な生活の維持・確保に必要不可欠な事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	④ 行政内部の管理上必要不可欠な事業である。	
	/10	<input type="checkbox"/>	⑤ 法令により実施することが義務づけられている事業である。	
	2.有効性の評価			理由等所見欄
	8	<input checked="" type="checkbox"/>	① 市民生活上の課題解決に貢献している。	在宅乳幼児家庭支援を行うために適している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	① 行政内部の管理上の課題解決に貢献している。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	② 事業目標が達成できるような事業内容になっている。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	③ 事業対象は適切である。	
<input checked="" type="checkbox"/>		④ 成果目標が達成され、市民に具体的に説明できるような効果があがっている。		
/10	<input type="checkbox"/>	⑤ 現在の事業費で、事業の見直しによる成果向上の余地はない。		
3.効率性の評価			理由等所見欄	
8	<input checked="" type="checkbox"/>	① 事業実施手法は適切である。	国の事業で要綱のとおり実施	
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 事業費を削減する余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 作業手順の改善などによる人件費削減の余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 受益者負担や補助金の割合に問題はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 受益者負担や補助金の割合に問題はない。		
/10	<input type="checkbox"/>	⑤ 効率性向上の余地はない。		

◎今後の方向性(ACTION)

課題					
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓「廃止」・「要改善」・「拡充」の場合は以下の欄に記入してください。					
今後の改革案	実施予定時期	<input type="text"/> <input type="text"/>			
	どのように改革するのか				